

紀州浪漫

2026 特別号



心動く和歌山の歴史・深体験

豊臣兄弟の物語を辿る。

豊臣秀長が築城した和歌山城
聖地に残した豊臣の痕跡を巡る



和歌山県観光情報

紀州浪漫

2026

特別号

発行日 / 令和8年8月1日

発行 / 公益社団法人和歌山県観光連盟
〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL.073(422)4631



県内のバス情報が
Googleマップで
検索できます。

出発地と目的地を設定すると、路線バスの
出発時刻や乗り場、系統番号の他、鉄道から
の乗換やバス降車後の徒歩による目的
地までの連続したルートを確認できます。

和歌山県の観光についてのお問い合わせ

和歌山県観光連盟・和歌山県観光振興課・和歌山県観光交流課

TEL.073(422)4631・073(441)2775 / FAX.073(432)8313 TEL.073(441)2785 / FAX.073(427)1523

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地

和歌山県の観光ホームページ <https://www.wakayama-kanko.or.jp>

和歌山県のホームページ <https://www.pref.wakayama.lg.jp>

●和歌山県東京観光センター
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館地下1階
TEL.03(3216)8000 / FAX.03(3216)8002

●和歌山県名古屋観光センター
〒460-0008 名古屋市中区栄4丁目1-1 中ビル5階
TEL.052(263)7273 / FAX.052(265)0327



和歌山観光PRシンボルキャラクター
わかばん



ごみのポイ捨てはやめましょう

- ・バーベキューは指定の場所で行いましょう
- ・ごみは家に持ち帰り適切に処分しましょう
- ・ポイ捨てをなくし地球環境を守りましょう
- ※ポイ捨ては法律違反で罰せられる行為です

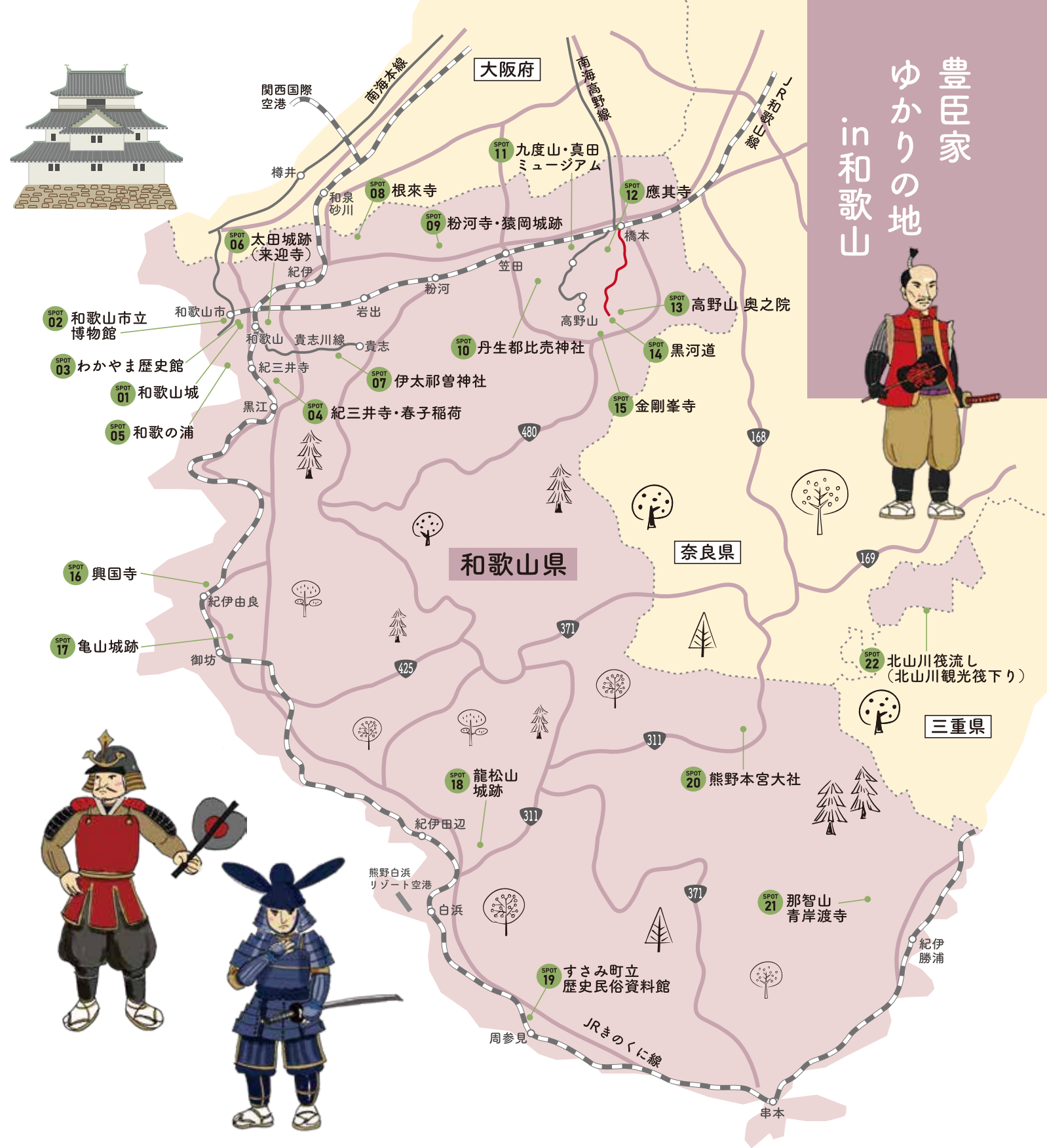
この情報誌は環境に配慮したペジタブラインキを使用しています。



駆け上がった豊臣秀吉・秀長兄弟のストーリーに大河ドラマ「豊臣兄弟!」。兄・秀吉を天下人者・秀長の知られざる実像に光を当てた物語が、あることをご存じだろうか。天下統一した彼らは、最強の鉄砲集団と名高い戦を経て、紀州平定を果たす。その後、秀山城の築城に着手し、熊野に鎮座する那智山再建した。さらに秀吉は、高野山に現在の総身にあたる青巖寺を建立し、高野山の興隆に力を尽くしている。和歌山のシンボルである城と聖地 高野・熊野に深く刻まれた兄弟の足跡。実は「和歌山」という名も、和歌の浦の絶景に感嘆した秀吉が付けたと言われている。美しい花々と緑に彩られた和歌山で、各地に残る天下統一への軌跡を辿って。彼らが生きた時代の熱狂を感じ、歴史の深淵に触れるディープな旅に浸ってみてはいかがだろうか。

豊臣兄弟の物語を辿る。

心動く 和歌山の歴史・深体験



目次 Contents	
2026	特別号
2	豊臣家ゆかりの地 in 和歌山
3	心動く和歌山の歴史・深体験 豊臣兄弟の物語を辿る。
4	和歌山市エリア
5	岩出・紀の川・伊都郡エリア
6	高野山エリア
7	日高・紀南エリア
8	熊野エリア
9	和歌山県MAP
10	和歌山城
11	虎伏山の山嶺に建つ連立式天守の城。築城は豊臣氏で、桑山氏、浅野氏の城主時代を経て紀州徳川家の居城となった。天守閣からの眺めや時代ごとの石垣・藩主専用の御橋廊下、西之丸庭園など見どころが多い。
12	本誌に掲載の情報は令和8年7月1日現在のものです。 施設・店舗等の営業時間・定休日・料金等が変更される場合があります。また、祭礼イベント等では、延期の場合もあります。ご利用の際はあらかじめ施設・店舗や主催者等に直接お問い合わせください。

豊臣秀長が築城した和歌山城。

紀州を平定した後、秀吉の命で弟・秀長が創建した和歌山城。天下人が城地として選んだのは、水運の要・紀湊を眼下に収める虎伏山の頂だった。
普請奉行の一人は、藤堂高虎。後の築城名人が最初に手掛けた本格的な近世城郭だ。やがて城は城主を変え、紀州徳川の威光が漂う居城となるが、石垣には今なお築城当時の面影が刻まれている。新旧の時代が交錯する城郭で、刻の地層を読み解くタイムトラベルへ。



SPOT 01 和歌山城

豊臣兄弟が、四国平定を脱んだ紀州の統治拠点として築城。山頂から山裾、南東平地部にかけて当時の石垣が残っている。当初は黒い天守閣で、紀州徳川の居城時代に白亜の天守となった。

📍和歌山市一番丁3
☎073-422-8979 (和歌山城天守閣)
🕒9:00～17:30 (入場は17:00まで)
●天守閣入場料
大人410円、小人(小・中学生)200円、未就学児は無料
🗓12月29日～31日

和歌山市エリア



SPOT 02 和歌山市立博物館

郷土の歴史、考古、民俗などの資料を扱う歴史系博物館。和歌山城築城400年目を記念して開館した。「鉄砲と雑賀衆」をテーマに、織田信長や豊臣秀吉と雑賀衆の戦いを伝える絵巻物や古文書も展示している。雑賀衆ゆかりの武具や、和歌山最古の紀州製火縄銃は、ここでしか見られない貴重な資料だ。

📍和歌山市湊本町3-2
☎073-423-0003
●一般、大学生100円、高校生以下無料
🕒9:00～17:00 (入館は16:30まで)
🗓月曜日(祝日の場合は開館・翌平日休館)
🗓年末年始



SPOT 03 わかやま歴史館

和歌山城の歴史・文化、和歌山市ゆかりの人物について学べる。戦国時代の傭兵・自治組織である雑賀衆と、紀州平定を目指す織田・豊臣の攻防を辿る展示も常設。

📍和歌山市一番丁3
☎073-435-1044 (和歌山城整備企画課/平日のみ)
●大人(高校生含む)100円(天守閣との共通入場券あり)
小人(小・中学生)無料
🕒9:00～17:30 (入場は17:00まで)
🗓年末年始(2階展示室は12月29日～31日)



コラム

和歌山城御橋廊下

藩主やそれに近い人が二の丸から西の丸へ移動するための「廊下橋」。外から姿が見えないように屋根と壁が付いた目隠し構造だ。2006年、江戸時代の図面を基に復元された。靴を脱いで渡ることができる。紅葉の名所、西之丸庭園に隣接しており、窓からの眺めは絶景だ。



豊臣の時代の石垣MAP

石垣散策



① 天守台石垣

築城当時に積まれた最古の石垣。元は石塔などだった転用石が多く見られ、周囲の石とは色が異なるものも。



② 石垣の変遷がわかる場所

豊臣家とその家臣・桑山家の時代に積まれた野面積みの石垣と、徳川時代の打込みハギの石垣が見られる。



③ 鶴の溪の石垣

結晶片岩を用いた野面積み(自然の石をほぼ加工せず積んだ石垣)は豊臣・桑山期の特徴。隅には特に大きく平らな石が使用されており、刻印がある石も見られる。



岡口門より天守閣を望む

ここにも立ち寄って！

てんす お天守茶屋

📍和歌山市一番丁3天守閣前
☎073-488-7640
🕒10:00～16:00
🗓年中無休



お天守団子 350円



天守閣を眺めながら休憩できる。天守を指す和歌山弁が由来のお天守団子は、団子も黒蜜も手作り。

SENQCHERE

(レストランサンクシェール)

和歌山城を望むレストラン。人気の朝食ビュッフェで和歌山グルメを味わえる。

📍和歌山市七番丁26-1 ダイワロイネットホテル和歌山 モンティグレ3F
☎073-435-0390
🕒朝食/7:00～10:00
ランチ/11:30～14:30 (ラストオーダー14:00)
ディナー/18:00～21:30 (木～日曜日のみ・ラストオーダー20:30)
🗓年中無休



SPOT 08 根来寺

名刹根来寺の大塔は、国内最大の木造塔。かつて僧兵集団・根来衆が豊臣方と対立して焼き討ちになるも、重要文化財の大師堂とともに戦火を免れた。

📍岩出市根来2286
☎0736-62-1144



岩出・紀の川・伊都郡エリア

SPOT 09 粉河寺・猿岡城跡

奈良時代末期に開創した古刹・粉河寺は、紀州攻めで秀吉軍に攻め落とされて全山焼失した。近くには本堂防衛のために猿岡城が築城されていたが、制圧後には、豊臣方の武将・藤堂高虎が入城。寺を監視・けん制する拠点とした。現在の粉河寺の伽藍は、江戸時代中期に紀州徳川家の寄進で再建されたものだ。

📍紀の川市粉河2787
☎0736-73-4830



SPOT 10 丹生都比売神社

弘法大師を高野山に導き、神領を受けた丹生都比売大神を祀る。高野山鎮守および紀伊国一宮として崇敬を集める由緒正しい神社で、その歴史は1700年以上。境内の鏡池にかかる輪橋は、御祭神が渡る神橋で、豊臣秀吉の側室の淀殿が奉納したと伝えられている。

📍伊都郡かつらぎ町上天野230
☎0736-26-0102



SPOT 11 九度山・真田ミュージアム



九度山は、関ヶ原の戦いで西軍(石田方)に加わって敗戦した真田幸村が、14年間の隠棲生活を送った地。ミュージアムでは九度山時代を中心に、真田三代(昌幸・幸村・大助)の生涯を紹介している。近隣に点在する真田氏ゆかりのスポットと合わせて楽しみたい。

📍伊都郡九度山町九度山1452-4
☎0736-54-2727
🕒9:00~17:00(最終受付16:30)
🗓月・火曜日(祝日の場合は営業・翌平日休館) 年末年始

根来衆の本拠地から
真田ゆかりの地へ。

／豊臣兄弟の物語を辿る。／

豊臣方と名勝負を繰り広げた僧兵・根来衆の本拠地、根来寺。豊臣秀吉と深い信頼関係で結ばれた真田昌幸・幸村が雌伏の時を過ごした九度山。豊臣兄弟のみならず、真田父子の足跡も辿れる、歴史好きにはたまらないエリアを楽しんで。

ここにも立ち寄って！



季節のパフェ(写真は桃パフェ)
※販売中のパフェについてはInstagramをチェック→



道の駅
ねごろ歴史の丘花笑み館

📍岩出市根来2347-20
☎0736-67-8737
🕒10:00~18:00
🗓年中無休



粉河寺みそ 900円

1,800円

※料金はいずれも直販価格



かにい土産物店

📍紀の川市粉河2640
☎0736-73-4201
🕒9:00~17:00
🗓不定休



SPOT 04 紀三井寺

紀三井寺は770年に開かれた歴史ある寺。和歌山城の歴代藩主が訪れ、紀州徳川家の繁栄を祈願した寺として知られています。また、西国三十三ヶ所観音霊場の第2番札所として、多くの参拝者で賑わいます。

📍和歌山市紀三井寺1201
☎073-444-1002

／豊臣兄弟の物語を辿る。／
秀吉が歌に詠んだ
絶景の浦。
「打出て 玉津島より なかむれは みとり立そふ 布引の松」。豊臣秀吉が、和歌の浦を訪れた際、その美しさを詠んだとされる歌だ。和歌山市内には秀吉が愛でた風景や、雑貨衆との激しい攻防の跡など、豊臣兄弟ゆかりの地が数多く残っている。



SPOT 06 太田城跡(来迎寺)

豊臣方の水攻めで陥落した城。城主の太田氏は雑賀衆と手を結び、織田・豊臣方と対立していた。秀長は秀吉の命で、城の周辺に短期間で長大な堤防を構築。川の水を引き入れて城を水没させた。

📍和歌山市太田2-3-7

和歌山市エリア



コラム 厄除けのご利益が！

秀吉の焼き討ちを免れた寺として語り継がれる紀三井寺。紀州攻めに際し、寺に仕える春子の献身的な嘆願に感じ入った秀長が、放火・狼藉を禁じる禁札を与えたという。この伝説から、春子を祀った春子稲荷は、厄除けのご利益があるとされている。

春子稲荷

紀三井寺の境内にある稲荷。

SPOT 05 和歌の浦

港湾交易を背景に鉄砲を入手し、戦国最強の鉄砲集団と謳われた雑賀衆の拠点。激しい戦の末、豊臣方が和歌の浦を掌握した。

☎073-444-4349(和歌の浦観光協会)



コラム 「和歌山」の名付け親が秀吉？！

紀州に入った秀吉は、風光明媚な和歌の浦を遊覧し、あまりの美しさに感嘆。後にその北方の岡山(現在の虎伏山)に築城した際、和歌の浦の「和歌」と岡山の「山」を組み合わせ「和歌山城」と名付けたのが、和歌山という地名の由来とされている。



SPOT 07 いたきそじんじゃ 伊太祁曽神社

📍和歌山市伊太祈曾558
☎073-478-0006

日本書紀に「国中に木を植えてまわった」と記され、「木の神」と慕われる五十猛命が主祭神。根来寺と関係が深かったため、紀州攻めで戦火に巻き込まれたが、豊臣秀長によって社殿が再建されたと伝えられている。

SPOT 15 金剛峯寺

高野山真言宗の総本山。秀吉が母親の菩提寺として青巖寺を建立。明治になり興山寺と合併し、総本山金剛峯寺と称されるようになる。寺内には豊臣秀次が自刃したと伝わる「柳の間」がある。

伊都郡高野町高野山132
0736-56-2011



金剛峯寺庭園 蟠龍庭

国内最大級の石庭。雲海のなかに雌雄の龍が向かい合い、奥殿を守っているさまが表現されている。



金剛峯寺山門

高野山エリア



真言密教のシンボル。朱塗りの大塔と青空のコントラストが美しい。



根本大塔

伊都郡高野町高野山132
0736-56-2468
(高野町観光協会)

壇上伽藍
根本大塔内部

弘法大師が真言密教の根本道場におけるシンボルとして建立した建物で、室内そのものを立体の曼荼羅として構成。本尊である胎藏大日如来の周りを金剛界の四仏が取り囲み、16本の柱には十六大菩薩、四隅の壁には密教を伝えた八祖像が描かれている。



SPOT 13 高野山 奥之院

弘法大師空海の御廟がある高野山の信仰の中心。参道には皇族や大名、文人などの供養塔や墓石が20万基以上並んでいる。

伊都郡高野町高野山550
0736-56-2468 (高野町観光協会)



高野山に息づく
秀吉伝説を訪ねて。

豊臣兄弟の物語を辿る。

紀州攻めに際し、あわや焼き討ちから一転して、豊臣家の加護を受けることになった高野山。天下人の心を動かし、靈山を戦火から救ったのが、応其上人だ。豊臣秀吉が復興に尽力した金剛峯寺や伽藍を訪ね、語り継がれる上人の物語や秀吉伝説に触れよう。



豊臣家墓所(奥之院内)

秀吉、秀長をはじめ、豊臣家一族が眠る墓所。

コラム

秀吉の紀州征伐から
「高野山」を救った「応其上人」

天下人・秀吉に「高野の木食と存ずべからず、木食が高野と存ずべし(応其あつての高野山)」とまで言わしめた応其上人は、元武士で和歌にも優れた文人の顔を持つ僧であった。紀州平定時、和睦の使者として訪れた上人の説得に感じ入って帰依した秀吉は、高野山焼き討ちを取りやめ、一転して保護と復興に尽くしている。その過程で上人は高野山内25棟もの堂塔再建を監護。東寺や醍醐寺の修繕、方広寺の大仏殿造営など、秀吉が各地で行った寺社復興事業にも携わった。奥之院には、高野山を救った上人を祀る興山応其上人廟がある。



SPOT 12 高野山 奥之院
おごじ 應其寺

もとは荒れ果てた里寺だったが、応其上人が再建し、この地に町を開いた。上人が紀の川に橋を架けたことが、橋本という地名の由来とされている。

橋本市橋本2-3-4
0736-32-0218



SPOT 14 高野参詣道 黒河道

高野参詣道のひとつで、太閤道とも呼ばれる。鳴り物禁止の高野山で騒々しい歌会を催していた秀吉が、突然の雷雨に弘法大師の怒りを恐れ、馬で宿場町・橋本までこの道を駆け降りたという。

073-441-2775 (和歌山県観光振興課)

高野山 café 雫

伊都郡高野町高野山360
0736-26-8571
10:00~16:00
冬期不定休



↑自分で作るようやくん最中 680円

ここにも立ち寄って!



高野山デジタルミュージアム内のカフェ。キュートなバリバリ最中に、御菓子処さゝ波のあんこや求肥、アイスクリームなどをトッピングしてどうぞ。



中央食堂さんばう

精進料理の基本である五味五色五法五禁に則った料理をいただける。

伊都郡高野町高野山722
0736-56-2345
11:00~16:00
(売切次第終了)
火曜日(その他不定休あり)





SPOT 20 熊野本宮大社

熊野速玉大社・熊野那智大社・那智山青岸渡寺と共に、熊野三山を構成する熊野信仰の中心。

📍田辺市本宮町本宮1110
☎0735-42-0009

コラム しん かく 神額

熊野本宮大社の宝物である神額。秀吉の息子・秀頼が奉納したもので、銘の「秀頼卿御再興」は社殿再建を表す。秀吉が藤堂高虎に命じた本宮社殿造営は、秀吉の死後に竣工した。奉納時は四方に縁が存在し、黄色く変色した部分は黒漆、左右の龍や文字は金色だったという。



SPOT 21 那智山青岸渡寺三重塔

那智山青岸渡寺の本堂後方から眺めると、那智の滝、朱塗りの塔、桜が重なり、息を飲む光景だ。

📍東牟婁郡那智勝浦町那智山68
☎0735-55-0001 (那智山青岸渡寺)



那智山青岸渡寺

西国三十三所観音巡礼の一番札所。観音信仰が篤い母・なかの願いを受けた秀吉は、秀長に命じ、本堂(如意輪堂)を再建した。

📍東牟婁郡那智勝浦町那智山8
☎0735-55-0001



秘仏御本尊「如意輪観世音菩薩」御開帳

●8月17日(月)
秘仏 御本尊御開扉法要
19時～20時頃

大河ドラマ「豊臣兄弟」放送記念
御朱印帳
期間限定・授与料:2,750円(税込)



SPOT 22 北山川観光筏下り

秀吉が大坂城や伏見城築城の用材を求めたことを契機に、木材運搬手段として発展した「筏流し」の伝統を受け継ぐ北山川観光筏下り。筏師が造った丸太の筏を、筏師が操って川を下る。

📍北山村観光センター
(道の駅おくとり内)
東牟婁郡北山村下尾井335
☎0735-49-2324



コラム おおわれにぐち 大鰐口

本堂内の日本一の大鰐口(直径1.4m、重量450kg)は、秀吉が寄進したもので、再興の趣旨として豊臣家の子孫繁栄や武運長久への願いが刻まれている。戦災で溶けた東大寺の大仏の銅を使って製作されたという。

熊野エリア

聖地に残した豊臣の痕跡を巡る。

熊野と豊臣秀吉・秀長の縁を結んだ、兄弟の母・なかの願いを受けた秀吉は、秀長に命じて那智山青岸渡寺の本堂を再建した。聖地に残る豊臣家の痕跡を巡り、ここにしかない神秘と歴史の旅を。

豊臣兄弟の物語を辿る。



SPOT 16 興国寺

鎌倉幕府三代将軍・源実朝の菩提を弔うために建立。秀吉の紀州攻めで伽藍の大半が焼失するも、関ヶ原の戦いの後に浅野幸長が再建した。法燈国師(覺心)が中国から持ち帰った金山寺味噌の製造技術を元に、醤油を生み出した発祥の地としても有名だ。

📍日高郡由良町門前801
☎0738-65-0154

コラム 天狗伝説が残る古刹

興国寺を再建した際、「赤城山の天狗が一夜にして伽藍を建立した」という不思議な伝説が残っている。境内の天狗堂に祀られた長さ2.4m、幅2.7mの巨大な天狗面は、天狗への感謝を形にしたものだ。毎年1月に天狗まつりを行っている。



日高・紀南エリア



SPOT 17 亀山城跡

県内最大規模を誇る中世山城で、日高地方を拠点として有田・牟婁地方に勢力を伸ばした室町幕府奉公衆・湯河氏の本城。秀吉の紀州攻めで落城した。亀山の麓には平時の館である湯河氏館跡があり、山頂には本丸跡や曲輪、土塁などの遺構が残っている。

📍御坊市湯川町丸山
☎0738-23-5525



SPOT 19 すさみ町立歴史民俗資料館

すさみ町の文化財がそろった資料館。周参見王子神社に奉納された巨大絵馬を所蔵しており、「清須会議」と「賤ヶ岳の七本槍」を題材とした絵馬には豊臣秀吉の姿が描かれている。

📍西牟婁郡すさみ町周参見2290
☎0739-55-4059



龍松山城跡から富田川流域を望む

SPOT 18 りゅうしょうざん 龍松山城跡

室町幕府の直轄軍である奉公衆を務めた紀南地方の領主・山本氏の本城。城内に、龍の寝姿に似た老松があったことが名の由来とされている。紀州攻めで山本氏が滅んだ後、廃城となった。城跡の曲輪をめぐる横堀は、戦国末期の城郭形式をなす貴重な遺構だ。

📍西牟婁郡上富田町市ノ瀬
☎0739-34-2370